田園風景　戻る日まで。

農家再生のお手伝い
自分のペースで少しずつ

無償で地道な作業
驚きと感謝でいっぱい

Vol.3

畑の復旧作業で支援を受けた仙台市若林区種次のレタス農家

相沢宏信さん（61）

自宅や畑がすべて津波に飲まれた仙台市の農家。「跡を継ぐという息子のためにも農業を続けたい」という思いで、支援を受けながら再建に向けて頑張っています。

ボランティアに来てもらうようになったのは今年3月からです。大きながれきを撤去しましたが、小さながれきや木のくず、ガラスの破片が土の中に残っていて手作業でないと取り除けない。のべ400人が1カ月かけて、約40アールの畑と自宅跡を片付けてくれました。たくさんの人が手弁当で駆け付け、無償の労働をしてくれるのが不思議でしたし、感激しましたね。特にリルーツのボランティアは畑づくりや農作業の手伝いもしてくれる。農家への応援の気持ちを感じます。

海水に浸った畑の土の状態は、簡単に復元しません。今年はレタスを作付けしましたが、収穫したうちの半分以上が不良で、市場に出荷できないんです。売り上げが戻らない一方、農機具を買いそろえていかないといけない。震災前の暮らしに戻るには何年かかるでしょう。

それでも少しずつ前に進んでいると感じます。作業場も建て直しました。仕事をしていると、近くに住んでいた親戚一家がやってきて、「自分たちも戻ってくる」と話していきます。ゼロからの道のりをここまでやって来られたのも、ボランティアの支えがあったから。本当にありがたいですね。

民間の支援団体「ReRoots（リルーツ）」の活動に参加している仙台市泉区の主婦

藤代晶子さん（30）

仙台市若林区で被災した農家の復旧・復興を手助けしているボランティア団体があります。仙台市泉区の女性は、気負わず、楽しみを見出しながら活動に参加しています。

今年3月末に東京から仙台に引っ越して来ました。時間があるし、せっかくだから気になっていたボランティア活動に行ってみることにしました。リルーツの活動には4月半ばから週に2日ほど、平日に参加しています。予約などが不要で自分が行ける日に行けばいいので気が楽ですね。常連のおじさま方やほかの主婦の方々など友達もできました。

リルーツの特色は、農家の再生を長期的に支援すること。農地のがれきを取り除くだけでなく、耕作支援もします。わたしも田植え前に苗づくりを手伝い、ハウスの草取りをしました。友人に話すと「それってボランティア？」と不思議がられますが、田畑を再生できれば農家は生活を取り戻せます。やりがいがあります。

奉仕という意識はありません。活動を通じて誰かとつながりを持てるし、体を動かせる。それが結果として少しでも農家の助けになるなら何よりです。

活動の参加者は全国から来た方々が多く、仙台や宮城県内の方は少ないのが現状です。地元の方にはさまざまな思いがあるでしょうし、無理はしない方がいい。ただ、少しでもボランティアに興味があったり、気になっている人がいれば、気軽に参加できる活動もあります。仲間が増えたら嬉しいです。

今できること プロジェクト

「今できることプロジェクト」とは、読者の皆さん、企業・団体の皆さん、河北新報社が一緒になって、これからの被災地・被災者支援のあり方を考え、具体的なアクションへとつなげていくプロジェクトです。紙面では毎回、実際に行われている支援の事例を、いくつかの支援スタイルに分けて取り上げ、支援する立場の人と支援を受ける立場の人、双方の生の声をご紹介します。
今回のテーマは、農地を復旧させ、作物が作れるようになる復興を目指して、ボランティアで取り組む、労働力提供型支援です。

9月は特集紙面毎週掲載

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/index.html　河北　今できること　検索

facebookページもあります。

◎地域支援団体「ReRoots」の活動　電話 022-762-8211

仙台の大学生らが中心となって運営する民間の震災復興・地域支援サークル。昨年7月から、仙台市若林区に建てたボランティアハウスを拠点にして、中長期的な農業支援に取り組んでいます。がれきを撤去して農地を使える状態にする復旧作業の段階から、その農地で実際に作物を作る復興の段階を見据え、地域のつながりづくりやイベントなどの活動も展開しています。ホームページ、ツイッター、フェイスブックを参照ください。

ほかにも、がれき撤去や耕作支援などのボランティア活動があります。社会福祉協議会が各地で行っているもの以外に、民間で運営されている活動をいくつか紹介します。

①津波復興支援センター（仙台市宮城野区岡田）　電話 022-259-0731
一般社団法人「仙台災害復興支援協議会」が運営している。ボランティアは家屋の片付けや田畑のがれき撤去などを行う。5人以下であれば予約不要。

②陸前高田カモメネット（陸前高田市）　電話 090-3130-0703
陸前高田市の市民グループによるボランティア団体。農地のがれき撤去から野菜の栽培支援、花を植える活動などに取り組んでいる。

③遠野まごころネット（遠野市）　電話 0198-62-1001
遠野市を拠点に、岩手県の三陸沿岸地域にボランティアを派遣している。がれき撤去や清掃活動、農業支援などの活動をする。

●私たちも、被災地支援のため「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI／アヴィエスホーム／アサヒビール 東北統括本部／いのちの電話 震災ダイヤル／岩手日日新聞社／岩松旅館／NTTデータ東北／鹿島建設 東北支店／キリンビールマーケティング 東北統括本部／ケーズデンキ／サッポロビール 東北本部／サントリービア＆スピリッツ 東北支社／JA全農みやぎ／JT 仙台支店／鈴木工業／住友生命 仙台総支社／住友林業 仙台支店／青南商事／セキスイハイム東北／石油連盟／仙台コカ・コーラボトリング／仙都タクシー／第一生命 仙台総合支社／大東住宅／タゼン／東海東京証券／東北三菱自動車／一般社団法人 日本手芸学会／日本政策金融公庫 仙台支店／日本製紙／日本製紙クレシア／日本生命 仙台支社／はとバス／東日本大震災事業者再生支援機構／ビルワーク／富士フイルムグラフィックシステムズ／ベルモードスズキ／ベロタクシー／北洲ハウジング／ホテル佐勘／三菱地所グループ／宮城県遊技業協同組合／みやぎ生活協同組合／宮城第一信用金庫／宮城中央ヤクルト販売／明治安田生命 仙台支社／リコージャパン 東北営業本部／河北新報社〈順不同〉

◎後援／宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会

［お問い合わせ］今できることプロジェクト事務局／河北新報社営業部 tel 022-211-1318